

ぴっくす

まちの話題

『大崎町出品牛 最優秀賞』

10月10日、11日、始良郡中央家畜市場で開かれた鹿児島県畜産共進会に、大崎町から和田芳治さん（小能）所有のさくら号と中村哲男さん（岡別府）所有のみさえ号の2頭が、曾於郡の代表として出品されました。

県内各地区から総頭数93頭の出品があり、若雌1区が24頭、若雌2区が15頭、育種係親子群が18頭、父系群が21頭、成雌牛区が15頭の5部門に分かれて審査が行われました。今回、大崎町からの2頭は若雌1区の部への出品で、この若雌1区の部は、生後12か月齢から16か月齢までという一番若いクラスで、育成段階では成長期にあたることもあり管理が難しく、技術的に個々の力が試される部でもあります。

成績については、和田さんが最優秀賞2席、中村さんが最優秀賞5席という最高レベルの成績で、お2人とも今回の入賞に大変喜んでいらっしゃいます。



和田芳治さん（右から6番目）
中村哲男さん（後列左から3番目）

『シルバー文化作品展で入賞』

第11回シルバー文化作品展で、大崎町から高尾の肥後一郎さん（73歳）と木入道の隈本キ工さん（82歳）の作品がそれぞれ賞に入り、鹿児島県歴史資料センター黎明館で表彰式が行われました。

肥後さんの今年の作品は『朝霧』と題した壺で、鹿児島県社会福祉協議会長賞に選ばれ、「毎年、この作品展で賞をいただき、たいへん嬉しく思っています。」と、入賞の喜びを話されました。また、肥後さんの昨年の作品は、鹿児島県を代表して、今年の全国シルバー文化作品展に出品されました。

一方の隈本さんの作品は『小鳥』と題した押し花絵で、銅賞に選ばれ、「出品させてもらえるだけでいいと思っていました。まさか、入賞するとは思っていませんでした。押し花絵を始めてから、自然を見る目が変わり、すべてが宝物に見えます。これからも続けていきたいと思えます。」と話されました。



『クリーンアップキャンペーンでごみの調査』

10月20日(日)、益丸海岸で『かごしまクリーンアップキャンペーン2002秋』が実施されました。

これは、海岸のごみ分類統計と清掃を行うことにより、環境問題についての認識を深めようというもので、大崎町では今回が5回目になり、約20人が参加しました。

参加者は、数人のグループに分かれて、データカードにごみの内容や数量を記入しながら、ごみを拾い集め分別しました。今回はごみの量が少なかったものの、やはり発泡スチロールやプラスチック類が目立ちました。

集められたデータの結果は、漂着・散乱ごみ問題の改善に向けた提案や提言に生かされます。

